

## 1 取組の概要及び成果等

### (1) 取組の概要

#### <命の逞しさを学ぶ>

先進地農業視察（グリーンテクノ系列3年次生）

- ・水耕ミツバの企業的経営農家の見学。
  - ・野菜種子の育種農場(種苗会社)の見学。
- 農産物直販会・収穫祭
- ・学校祭(文化祭)の企画に農業クラブが参加して農産物の直販会を実施した。

#### <命を育てる>

地域の美化活動に参加する

- ・科目「草花」の実習で地域の公共施設・商店街などの花壇づくりに協力した。
- 保育園児・小学生・中学生の農業体験の支援活動
- ・近隣の保育園園児の農業体験や小学生の植物バイオ実験の指導，ソバ打ち体験を通して交流を深めた。
- 養護学校生徒との交流
- ・個別交流，学校交流を通して農業実習の体験を本校生徒と共に行った。  
(草花の管理，野菜の収穫，果樹の収穫，芸術など)
- 就業体験（インターンシップ）の実施(生物生産コース生徒)
- ・近隣の園芸農家に委託して4泊4日の農業実習を行った。）

### (2) 特に工夫や配慮をした事項

視察地や体験実習先の選定には地域の農業改良普及センターの協力を仰いだ。

総合高校のため専門科目の学習が2年次からスタートのため，就業体験については受け入れ先に迷惑をかけるのではないかと心配した。しかし，受け入れ側の配慮で無事実施する事が出来た。

自分達の学習したことが他人(幼稚園児，小学生，養護学校生)に説明指導することで学習内容の定着を図るとともに，自信を深められるよう配慮した。

### (3) 成果等

先進地視察や体験実習では新しい農業の動きや企業的経営を体験でき農業という産業の奥深さを感じてきたように思われる。

農業体験の支援活動では，自分達の学習したことを苦勞しながらわかり易く伝えようと努力する中に，自分の学習の仕方を学んだように思われる。交流を通して，他人から認められることを実感して「教えてよかった」「よろこんでもらえて嬉しかった」等達成感が聞かれた。

普段無口な生徒が体験支援や交流授業では園児や児童を楽しませながら指導に当たっている様子が見られ新しい発見ができた。

## 2 学校の推進体制と学校支援委員会の活動

### (1) 学校の推進体制と学校支援委員会の活動の概要

年度途中からの委員会立ち上げとなったため，当初は本校職員が中心の活動になった。

計画実施に当って，委員の方にはいろいろアドバイスを頂いた。

(2) 成果等（推進体制の充実，関係者との連携・協力の観点から）

- ・計画に当っては各方面の多くの方々からご意見を頂き，実施に際しても協力を頂いた。
- ・養護学校との交流事業は教務部，ボランティア委員会の協力を得て実施した。普段見られない生徒の一面を知ることができ充実した交流であった。
- ・事業の実施に当っては，教科担当や系列職員の協力を得て実施することができた。

3 今後の課題と改善点

- ・保育園，小学校，養護学校，受け入れ農家の連携をはかり，より充実した内容で実施できるように改善を図ってゆきたい。
- ・生徒たちに達成感を感じ取れる事業を取り入れ，自信と生きる楽しさ，人とのふれあいで得られる幸福感を感じ取れる事業を展開したい。